2026年９月更新

2026年度健康保育学科カリキュラムマップ

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する、－：関係しない

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と保育・教育の専門職としての高い倫理観【教養・倫理】	2)保育・教育活動を実現する専門的知識・技能【知識・技能】	3)子ども、保護者等と信頼のある関係を築き、保育・教育の専門職として意思の疎通を適切に図る力【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の保育・教育課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力【課題解決力】	5)保育・教育の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力【地域連携、多職種連携力】	6)保育・教育の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力【生涯学習、キャリア形成】
1	にいみの文化	◎	△	△	○	△	◎
1	にいみの保健医療福祉	○	○	△	○	◎	△
1	にいみ地域協働演習	○	○	◎	◎	◎	○
1	健康科学Ⅰ(健康・医療論)	○	◎	△	○	◎	○
1	健康科学Ⅱ(身体の仕組みと機能)	◎	◎	△	△	－	○
1	健康科学Ⅲ(基礎病態学)	○	◎	△	○	○	○
1	健康科学Ⅳ(病気の治療)	○	◎	△	○	○	○
1	基礎ゼミナールB	◎	○	◎	○	－	○
1	哲学	◎	△	○	○	△	○
1	文学	◎	△	○	－	－	◎
1	倫理学	△	－	△	◎	○	－
1	美術	◎	◎	－	－	○	◎
1	音楽	◎	○	－	△	－	◎
1	日本国憲法	○	△	△	△	－	－
1	経済学	◎	○	－	◎	△	○
1	社会学	○	◎	－	◎	◎	－
1	教育学	◎	○	○	△	△	○
1	心理学	◎	◎	◎	○	△	○
1	ICTリテラシーⅠ	△	◎	○	○	－	◎
1	ICTリテラシーⅡ	○	◎	○	◎	○	○
1	自然科学Ⅰ	◎	◎	△	○	－	◎
1	自然科学Ⅱ	◎	◎	△	○	－	◎
1	英会話Ⅰ	◎	－	◎	－	－	○
1	英語Ⅰ	◎	－	◎	－	－	－
1	国際コミュニケーション	◎	－	○	－	－	○
1	手話	◎	◎	◎	○	○	○
1	国語表現法	◎	△	◎	△	－	◎
1	スポーツ実習A	○	○	○	◎	－	◎
1	スポーツ実習B	○	○	◎	○	－	◎

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する、－：関係しない

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と保育・教育の専門職としての高い倫理観【教養・倫理】	2)保育・教育活動を実現する専門的知識・技能【知識・技能】	3)子ども、保護者等と信頼のある関係を築き、保育・教育の専門職として意思の疎通を適切に図る力【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の保育・教育課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力【課題解決力】	5)保育・教育の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力【地域連携、多職種連携力】	6)保育・教育の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力【生涯学習、キャリア形成】
1	生涯スポーツ論	○	○	△	○	－	◎
1	保育原理	◎	△	△	○	○	◎
1	社会福祉	◎	◎	○	○	○	○
1	社会的養護Ⅰ	◎	◎	○	○	○	○
1	保育者論	◎	◎	◎	○	◎	◎
1	保育の心理学	◎	◎	○	○	◎	◎
1	子ども家庭支援の心理学	◎	◎	○	◎	◎	－
1	子どもの保健	◎	◎	◎	◎	○	○
1	保育内容総論	○	◎	○	◎	○	△
1	保育内容「健康」	◎	◎	○	◎	△	◎
1	保育内容「環境」	○	◎	◎	○	○	○
1	保育内容「言葉」	－	◎	◎	○	－	－
1	保育内容「表現」（身体表現）	◎	◎	◎	○	○	◎
1	保育内容「表現」（身体表現）の指導法	◎	◎	◎	○	○	◎
1	保育内容「表現」（音楽）	○	◎	○	－	－	◎
1	保育内容「表現」（造形）	○	◎	○	◎	－	◎
1	乳児保育Ⅰ	◎	◎	○	△	○	○
1	社会的養護Ⅱ	◎	◎	○	○	○	○
1	幼児音楽Ⅰ	○	◎	－	－	－	◎
1	声楽	○	◎	－	－	－	◎
1	児童文学	◎	◎	△	－	△	○
1	特別支援教育総論	◎	◎	◎	○	○	○
1	生命活動と代謝	◎	◎	－	○	－	－
2	地域防災論	◎	◎	－	○	△	○
2	地域防災演習	◎	◎	◎	◎	○	○
2	英会話Ⅱ	◎	－	◎	－	－	○
2	英語Ⅱ	◎	－	◎	－	－	－
2	健康科学英語	◎	○	○	－	－	○
2	教育学総論	◎	◎	○	○	○	◎
2	子ども教育心理学	◎	◎	○	○	◎	◎

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する、－：関係しない

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と保育・教育の専門職としての高い倫理観【教養・倫理】	2)保育・教育活動を実現する専門的知識・技能【知識・技能】	3)子ども、保護者等と信頼のある関係を築き、保育・教育の専門職として意思の疎通を適切に図る力【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の保育・教育課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力【課題解決力】	5)保育・教育の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力【地域連携、多職種連携力】	6)保育・教育の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力【生涯学習、キャリア形成】
2	子どもの食と栄養	○	◎	◎	○	○	○
2	保育・教育課程論	○	◎	○	◎	○	◎
2	保育内容「健康」の指導法	◎	◎	○	◎	△	◎
2	保育内容「人間関係」	◎	◎	○	○	◎	◎
2	保育内容「環境」の指導法	○	◎	◎	○	○	○
2	保育内容「言葉」の指導法	－	◎	◎	○	○	○
2	保育内容「表現」（音楽）の指導法	○	◎	－	－	－	◎
2	保育内容「表現」（造形）指導法	○	◎	○	◎	－	◎
2	乳児保育Ⅱ	◎	◎	○	○	△	○
2	子どもの健康と安全	△	◎	○	○	◎	◎
2	教育相談（幼）	◎	○	◎	◎	○	○
2	幼児音楽Ⅱ	○	◎	－	－	－	◎
2	表現技術	○	◎	◎	○	－	◎
2	特別支援教育（幼・保）Ⅰ	◎	◎	◎	○	◎	◎
2	知的障害者の心理・生理・病理	○	◎	◎	○	○	○
2	肢体不自由者の心理・生理・病理	○	◎	◎	○	○	◎
2	知的障害者教育方法論	◎	◎	○	◎	○	○
2	保育実習指導Ⅰ（保育所）	◎	◎	○	◎	○	○
2	保育実習Ⅰ（保育所）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2	保育実習指導Ⅱ	◎	◎	◎	◎	○	◎
2	保育実習Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2	実地体験実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
2	発展ゼミナール	◎	○	◎	○	△	◎
2	SDGsと社会福祉	○	◎	△	○	△	△
2	地域経済学	◎	○	－	◎	△	○
3	チームアプローチ演習	○	◎	◎	◎	◎	◎
3	英語論文講読	◎	○	○	－	－	○
3	子ども家庭福祉	◎	◎	○	◎	◎	△
3	子ども家庭支援論	◎	◎	○	◎	◎	◎
3	幼児理解の理論及び方法	◎	◎	◎	○	△	◎

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する、－：関係しない

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と保育・教育の専門職としての高い倫理観【教養・倫理】	2)保育・教育活動を実現する専門的知識・技能【知識・技能】	3)子ども、保護者等と信頼のある関係を築き、保育・教育の専門職として意思の疎通を適切に図る力【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の保育・教育課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力【課題解決力】	5)保育・教育の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力【地域連携、多職種連携力】	6)保育・教育の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力【生涯学習、キャリア形成】
3	保育内容「人間関係」の指導法	◎	◎	◎	◎	○	○
3	子育て支援	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	教育方法・技術論（幼）	○	◎	○	◎	－	◎
3	統計学	－	◎	－	○	－	－
3	特別支援教育（幼・保）Ⅱ	◎	◎	○	○	○	○
3	病弱者の心理・生理・病理	◎	◎	◎	○	○	◎
3	知的障害者教育課程論	◎	◎	○	○	○	○
3	肢体不自由者教育課程論	◎	◎	○	○	○	○
3	肢体不自由者教育方法論	◎	◎	○	○	○	○
3	病弱者指導論	◎	◎	○	○	○	◎
3	重度・重複障害者教育総論	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	重複障害者教育総論	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	視覚障害者教育総論	◎	◎	◎	○	○	○
3	聴覚障害者教育総論	◎	◎	◎	○	○	○
3	障害児教育の教育課程および指導法とその歴史	◎	◎	○	◎	○	◎
3	特別な教育的ニーズの理解とその支援	◎	◎	◎	○	◎	◎
3	発達障害者教育総論	◎	◎	○	○	○	○
3	病児のケアと発達支援	◎	◎	○	○	◎	△
3	幼児音楽Ⅲ	○	◎	－	－	－	◎
3	保育実習指導Ⅰ（施設）	◎	◎	◎	◎	○	○
3	保育実習Ⅰ（施設）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	特別支援教育実習指導	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	保育実習指導Ⅲ	◎	◎	◎	◎	○	○
3	保育実習Ⅲ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	教育実習指導	◎	◎	◎	◎	◎	○
3	教育実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	卒業研究Ⅰ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	卒業研究Ⅱ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	ICTリテラシーⅢ	◎	◎	○	◎	△	◎
4	幼児音楽Ⅳ	○	◎	－	－	－	◎
4	特別支援教育実習	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎：深く関係する、○：関係する、△：少し関係する、－：関係しない

開講年次	授業科目の名称	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に示している修得すべき能力					
		1)豊かな教養と保育・教育の専門職としての高い倫理観 【教養・倫理】	2)保育・教育活動を実現する専門的知識・技能 【知識・技能】	3)子ども、保護者等と信頼のある関係を築き、保育・教育の専門職として意思の疎通を適切に図る力 【コミュニケーション力】	4)個人・家族・集団・地域の保育・教育課題を認識し、その解決に向けて必要な役割を見出し、行動する力 【課題解決力】	5)保育・教育の専門職として、地域の関係者との連携を図り、または多職種との連携を図ることができる力 【地域連携、多職種連携力】	6)保育・教育の専門職として、生涯にわたり向上心を持って学び続け、自らの目標に向かって経験を積み上げていく力 【生涯学習、キャリア形成】
4	教育制度論（幼）	◎	○	△	○	○	○
4	教職・保育実践演習	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	卒業研究Ⅲ	◎	◎	◎	◎	◎	◎
4	卒業研究Ⅳ	◎	◎	◎	◎	◎	◎